

介護ロボット導入活用事例集2022の作成について

1. 事業目的

「福祉用具・介護ロボット実用化支援事業」や「ロボット介護機器開発・標準化事業(開発補助事業)」等の開発補助等を経て、実用化した介護ロボットの普及啓発を行うとともに、適切かつ効果的な利用の推進を図ることとする。

2. 事業概要

介護ロボットメーカー連絡会議(以下、「本連絡会議」)に参加するメーカー等を通じて、介護施設等から介護ロボットの効果的な導入活用事例を収集し、「介護ロボット導入活用事例集2022(仮称)」を作成し、配布する。

3. 掲載する介護ロボットメーカー

原則、本連絡会議の参加企業とし、これまで「福祉用具・介護ロボット実用化支援事業」や「ロボット介護機器開発・標準化事業」等から開発補助を受けて実用化した介護ロボットを有するメーカー等とする。

また、NEDO(課題解決型福祉用具実用化開発支援事業)や厚生労働省、テクノエイド協会(障害者自立支援機器等開発促進事業)から開発補助を受けたメーカーについては、事務局にて個別に検討し決定することとする。

なお、原則、過去の事例集に掲載された事例は対象とせず、最近3年以内の新たな事例を対象とする。

4. 事例集に掲載する内容 …… 別添「見本」参照

以下に記述する事項を事例集に掲載する。

- ①カテゴリ …… 移乗介助、移動支援、排泄支援、見守り(在宅・施設)、入浴支援、コミュニケーション支援、リハビリ支援、服薬支援、……

(1)機器の概要

- ②機器の名称(商品名)
 - ②' 機器の品名(種別名)

<例 名称(商品名): テクノホイール
品名(種別名): 電動車いす>
- ③型番(検索・参照できる商品番号)
- ④メーカー名
- ⑤問い合わせ先(所在地、担当者名、電話、メール、会社もしくは商品紹介 HP アドレス)
- ⑥機器の仕様、概要 1500字~1700字
(写真2点~3点)
- ⑦機器の販売価格とメンテ費用

事例原稿の提出は、
令和4年9月30日
とする。

(2)導入の状況

- ⑧導入介護施設(施設名、所在地、導入時期、使用概況)
- ⑨設置及び使用の状況 750字～800字(写真1点～2点)
- ⑩選定の理由、導入の経緯(導入前の課題)
350字～400字
- ⑪適用範囲や使用場面 1250字～1350字
(写真2点～3点)
- ⑫導入に関与(仲介やアドバイス、納入等)した機関
- ⑬導入に要した費用(購入費・設置費)及び教育費、ランニングコスト
- ⑭導入施設の介護スタッフの声(ルール化したことなど)250字～300字

(3)導入による介護業務等の変化(全体で2,350文字以内)

- ⑮利用者(高齢者)に与えた効果や影響(300字～350字 目安)
- ⑯介護職員を含む介護システム全体に与えた効果や影響(300字～350字 目安)
- ⑰機器の使いやすさ(当該機器の優れた性能等)(300字～350字 目安)
- ⑱導入にあたって工夫した点、変化したこと(800字～1000字 目安)
(写真3点～4点)
- ⑲施設長のコメント(250字～300字 目安)

(4)導入実績等

- ⑳導入施設等(見学可能な施設)※最低1施設以上

5. 事例集作成にあたっての事務局

リスト作成・編集の一部を以下の企業に委託しております。校正の依頼があった場合は、適切かつ速やかな対応をお願いします。

株式会社サンワ 介護ロボット導入活用事例集編集部
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋2-11-8
メール:edit@sanwa-s.com

6. 掲載料

無料とする

7. 掲載の可否の判断

本事業の目的に照らして、掲載の可否及び掲載する情報内容の可否については、協会が適宜適切に判断することとする。(したがって、掲載をお断りする場合もあることとする。)

掲載時に使用するフォントやサイズ、デザインは協会において決定します。

8. ホームページへの掲載

本事例集の内容を広く周知する観点から、当協会のホームページに掲載することとし各方面への情報発信を行うこととする。

(参考)昨年度の事例集

<http://www.techno-aids.or.jp/robot/file02/jirei2020.pdf>

9. 冊子の発行時期

発行時期は令和5年1月を予定します。事例提供いただいた施設への送付を希望する場合、事前にご連絡願います。

【本件に関するお問い合わせ先】

公益財団法人テクノエイド協会 企画部 谷田・松本・根石
162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ4階
電話 03(3266)6883 メール monitor@techno-aids.or.jp